科目ナンバリング	U-LAS04 10020 OJ47　U-LAS04 10020 OJ46　U-LAS04 10020 OJ45 U-LAS04 10020 OJ17

授業科目名 <英訳>	統合型複合科目（人社群p2）：こころの科学　HP01 Integrated Liberal Arts and Science with Small Group Seminars (Humanities and Social Sciences p2) :Psychological Science HP01	担当者所属 職名・氏名	人と社会の未来研究院 教授　阿部　修士 人と社会の未来研究院 教授　内田　由紀子 人と社会の未来研究院 准教授　上田　祥行 人と社会の未来研究院 准教授　中山　真孝 人と社会の未来研究院 特定教授 中井　隆介 人と社会の未来研究院 助教　上田　竜平 人と社会の未来研究院 特定助教 粉川　尚枝 人と社会の未来研究院 特定助教 早川　小百合 人と社会の未来研究院 特定助教 鈴木　優佳

群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	教育・心理・社会(基礎)	使用言語	日本語

旧群	A群	単位数	4単位	週コマ数	2コマ	授業形態	講義＋演習（対面授業科目）

開講年度・開講期	2026・前期	曜時限	火4・水5	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

この授業では、こころを対象とする学問－特に心理学とその関連分野を中心として、基礎的な理論と研究方法を学び、こころと行動を科学的に理解する力を養うことを目的とする。受講者は、心理学の主要分野の概要を幅広く理解し、日常生活や社会的課題に心理学的視点を応用できるようになることを到達目標とする。
本統合型複合科目では、講義において、こころを研究する心理学の全体像と、実験や調査、臨床といった主要な領域について学ぶ。

そして、受講者は4つの少人数演習（A班：実験心理学×脳神経科学×データサイエンス、B班：社会・文化心理学の基礎、C班：臨床心理学からこころを考える、D班：美的体験の定量的・定性的分析）のいずれかに参加することによって、実習や討論を通して講義内容に関連するテーマをより深く探究する。

さらに、4つの少人数演習の担当教員が講義においても話題提供を行うことで、全ての受講生が4つの演習のエッセンスを理解できるようする。
具体的には、第1回の講義では、認知心理学や社会心理学、臨床心理学といった主要な領域を紹介し、「こころを研究する」とはどういうことかについて、基本的な理解を深める。翌週からは4つの少人数演習の担当教員が、それぞれ3回の講義を行い（第2回-第13回）、各演習の内容に関連する主要な知見や理論、方法論等を体系的に学習する。第14回の講義においては、質問を受け付け、まとめを行う。

○統合型複合科目分類【文・文】
主たる課題について文系分野の要素が強く、副たる課題についても文系分野の要素が強いと考えられるもの

統合型複合科目（人社群p2）：こころの科学　HP01(2)へ続く↓↓↓

[到達目標]

心理学における基本的な概念・理論と研究・実証の方法を多角的に理解することで、こころを対象とする学問分野における思考法やスキルを身につけるとともに、日常生活や社会的課題に心理学的視点を応用できるようになることを目指す。

[授業計画と内容]

（この授業では、講義と少人数演習を併せて学びます。講義のみ、少人数演習のみの出席では授業の到達目標に達しません）

◆講義　火曜4限
教室：共西23
第1回　オリエンテーション：こころの科学とは
第2回　実験心理学の概要（阿部）
第3回　反応や行動指標からこころを調べる（上田祥行）
第4回　脳機能計測でこころを調べる（中井）
第5回　社会心理学基礎（内田・中山）
第6回　心理学調査基礎（中山）
第7回　社会からの視点を考える（ゲストレクチャー：苅谷剛彦）
第8回　臨床心理学とは何か（粉川）
第9回　心理アセスメントと面接（粉川）
第10回　心理療法と臨床実践（鈴木）
第11回　美的体験の心理・神経メカニズム（上田竜平）
第12回　建築・都市のデザインと空間体験（早川）
第13回　美的体験の定量的・定性的分析手法（上田竜平・早川）
第14回　質問の受け付けとまとめ
第15回　フィードバック

◆少人数演習
A班「実験心理学×脳神経科学×データサイエンス」水曜5限
担当：上田祥行・阿部・中井
教室：人と社会の未来研究院 稲盛財団記念館 1階セミナー室(医・薬・病院構内)
履修定員：10名
本演習は、こころの科学のための実験デザインの構築から、実験データの取得、実験データの解析から考察まで実施する一連の研究体験型の演習を行う。以下の内容で実施する。各項目について、受講者の理解の程度を確認しながら進める。

第1回：オリエンテーション
　・少人数演習の概要の説明と、授業の進め方、予定等の周知。
第2回-第3回： 実験心理学の基礎について学ぶ。
　・心理実験の基礎および心理実験デザインの構築法を学ぶ。
第4回-第5回：脳機能計測法についての基礎を学ぶ。
　・脳の構造や機能、MRI装置について学ぶ。
　・機能的磁気共鳴画像法(fMRI)の原理と実験法の基礎について学ぶ。
第6回-第7回：実験実習
　・行動実験を実施する。
　・脳機能計測実験を実施し、データを取得する。
第8回-第11回：行動実験データの解析法を学ぶ。

統合型複合科目（人社群p2）：こころの科学　HP01(3)へ続く↓↓↓

・実験デザインの背景の説明。
・反応時間や正答率といった行動データの解析法を学ぶ。
・実際に収集した行動データの解析を実施する。
・行動データの集団における解析法を学ぶ。
第12回-第13回：脳機能計測データの解析法を学ぶ。
・脳機能計測データ解析の基礎と原理を学ぶ。
・実際に収集した脳機能計測データの解析を実施する。
第14回：レポート（ポスター）作成：全員
・一連の演習を元に、レポート（ポスター形式）を作成する。
第15回：フィードバック ：全員

※解析の実習ではパソコンを使用するので、ノートPCを持っている人は可能であれば持参してください。（こちらでもある程度の数を用意はしております。）
※予定は状況により変わる可能性もあります。

[履修要件]

特になし。特別な予備知識は必要とせず、文系・理系を問わず全学部生向けに授業を行う。

[成績評価の方法・観点]

講義と少人数演習をあわせた授業全体の成績は、1：1の割合で、両担当教員が相談して評価する。講義については、14回の授業での平常点（出席と参加の状況）で評価する。少人数演習における各評価項目の割合の詳細は、初回の授業で説明する。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

授業で取り上げる内容や単語に関して事前に調べる、また習ったことは資料を元に復習する。

[その他（オフィスアワー等）]

教員への連絡はメールで随時行う。研究室に直接訪問可。授業時間以外に学内実験施設の見学等を行う場合がある。

成績証明書等では、表示文字数の制約上、英文科目名「Integrated Liberal Arts and Science with Small Group Seminars」が「ISS」と略記されます。

[主要授業科目（学部・学科名）]